

河川の連携・地域をつなぐ明日への水 思川開発

思川だより

独立行政法人水資源機構 思川開発建設所



南摩ダム完成予想図

特別寄稿 南摩ダムの早期完成を願う

栃木県鹿沼市助役 渡邊 南決



で安堵しています。

このような状況下であります。南摩ダムは本市を流れている大芦川や黒川から取水を行い、ダムに水を貯める計画となっていることから取水導水地域の対応も重要でありますので、今後は、重点課題として取り組んでいきたいと考えています。

また、ダムの早期完成は、これまでの水没者に対する労苦に報いるものであり、更には、利水県等からの支援に対する感謝の表れとなりますので、起業者及び栃木県や本市が連携を充分図りながら進めていく必要があると認識しています。

なお、利水県等におかれましてもダムの早期完成に向けて、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



思川開発事業(南摩ダム)は、国の事業として昭和39年から進められてきましたが、起業者であります水資源機構やダムの水を利用される埼玉県・千葉県・茨城県、そして栃木県のご支援等によりまして、大方の水没世帯の方々が新たな移転地において生活を行っており感謝申し上げます。

ご承知のように、南摩ダムは国による公共事業の見直しの中で今市市の大谷川から取水を断念した経過がありますが、当時は市と水没者の方で見直しに対する対応策について協議を行い、水没者の代表者がダムの水を利用する県や市町を訪問し、建設に対するお願いなどを行ってきたことを思い出します。「よく、ここまで進められてきたなあ。」という気持ちで一杯です。

本市といたしましても、水没世帯の生活再建を最優先課題として取り組んできたの

こんにちは! の 南摩仲間たち



写真 南摩で確認されたカジカ

その
カジカ(カサゴ目カジカ科)
Cottus pollux

カジカは底生性の魚類で、一生を川で生活するタイプと一度海に流下してまた川に戻ってくるタイプの2タイプに分類されることが知られています。南摩で見られるカジカは一生を川で生活するタイプで、このタイプのカジカは、川の上流部に生息し水温が低く水の澄んだ瀬の礫底を好みます。南摩でも南摩川の上流部や南摩川の支川で生息が確認されています。

食性は肉食性で、主に石の表面等にいる付着性の水生昆虫などをとって食べます。産卵期は、東日本では3月下旬～6月上旬頃で、オスが河床の大型の石の下の空所に縄張りを張り、メスは石の下面に卵を産み付けます。また、オスは卵が孵化するまでその場を離れず、卵を守るという習性をもっています。

人事異動

3月31日付で退職いたしました職員を紹介します。

第一用地課 「お世話になりました」(岐阜県)

4月1日付で転入・転出のありました職員を紹介します。

転入者 「よろしくお願ひします」(前任地)

所付 第一用地課 河野裕明 (琵琶湖開発総合センター)

第一用地課 木田早里 (豊川用水総合事業部)

第一用地課 新井心平 (豊川用水総合事業部)

第一用地課 田中雄一朗 (中部支社)

第一用地課 小林良史 (愛知用水総合事業部)

第一用地課 川野伸次 (徳山ダム建設所)

第一用地課 坂本信也 (荒川ダム総合事業部)

第一用地課 濱野久美 (沼田総合事業部)

第一用地課 山崎宣之 (豊川用水総合事業部)

転出者 「お世話になりました」(転出先)

調査課 村上慶司 (関西支社)

第二用地課 畑井興三 (木曾川用水総合事業部)

第二用地課 持田佳男 (群馬用水総合事業部)

第二用地課 東千晃 (用地部)

第二用地課 飯田準一 (木曾川用水総合事業部)

第二用地課 枘内暁史 (総合技術推進室)

第二用地課 福田達郎 (ダム事業部)

第二用地課 鵜飼宣行 (沼田総合事業部)

第二用地課 西岡芳尚 (豊川用水総合事業部)

第二用地課 堀孝 (寺内ダム管理所)

第一用地課 杉田康司 (第二用地課)

第一用地課 荒木一段 (第三用地課)

第一用地課 松澤俊一 (第一用地課)

第一用地課 一ノ瀬泰彦 (第一調査設計課)

第一用地課 國居史之 (第一調査設計課)

第一用地課 椎名教之 (環境課長)

編集・発行所



独立行政法人 水資源機構

思川開発建設所

〒320-0065 宇都宮市駒生町中丸3368

Tel(028)622-8941 Fax(028)622-8945

ホームページ http://www.water.go.jp/kanto/omoigawa/index.html

鹿沼事務所

〒322-0346 鹿沼市上南摩187-18

Tel(0289)77-3888 Fax(0289)77-3890

東大芦及び加蘇地区事業説明会を開催

このたび東大芦地区と加蘇地区において思川開発事業に関する説明会を開催いたしました。

東大芦地区につきましては、栃木県が計画しておりました東大芦川ダム中止に伴う代替え案について、栃木県と鹿沼市との間で合意されたことを受けて、この3月14日に東大芦地区全体を対象として、また、3月16日には取水・放流工の建設予定地点であります引田地区を対象として説明会を開催し、思川開発事業の概要、取水や補給水の方法等について説明させて頂きました。

また、加蘇地区は、導水路トンネルが通過する地域ですが、今回導水路トンネルのルートを選定しましたので、その内容について説明させて頂きました。

また、今回の説明会の中で用地等の調査



東大芦地区説明会



引田地区説明会

については東大芦地区、加蘇地区とも進めさせて頂くことで了解を頂きました。

今回の説明会では、それぞれの地域の皆様から活発なご意見、ご質問を頂きました。

今後は、思川開発事業に対して地域の皆様が持たれている不安やご心配に対し安心して頂けるよう今回のような説明会等を開催していくことで、皆様のご理解、ご協力をお願いして参ります。



ダムサイト下流（室瀬・昭和地区）で調査着手！

昨年12月から南摩ダム建設予定地付近より県道下流に位置する上南摩小学校の間で用地調査及び地形等を計測する技術調査を実施しました。

この調査は、南摩ダム本体付近の用地取得や工事に必要となる工事用道路等の仮設備の位置等の計画検討を行うために欠くことのできない調査です。



昭和地区地形測量

今後、この調査を元にして所有者や地域の方々との協議調整を行い、ダム本体及び下流側周辺の全体計画を策定して行くことになります。

南摩ダム完成後の直下の基本的な形状を決定する重要なものとなりますので、完成後のイメージを描きながら策定する事が必要となります。

また、詳細な測量調査も今後必要になると思われますので、所有者、地域の方々のご協議しながら進めて行く所存ですのでご協力をお願い致します。

黒川取水・放流工調査用資材置場造成工事について

黒川取水・放流工は、黒川から水を取水し、南摩ダムまで導水を行う導水路の入口にあたる重要な施設です。黒川取水・放流工調査用資材置場造成工事は、昨年末に鹿沼市板荷地区（板荷9区）の黒川取水・放流工予定地点に今後の調査等に必要な資材や車両を置くためのスペースを造成する工事です。工事では主に盛土による平地造成を行い、



資材置場完成状況

約300m²の平地が誕生しました。途中雪による影響で工事の完成が危ぶまれましたが、無事工期内に完成することができました。今後は、今回造成した平地から取水・導水路建設予定地に向けて、調査用の進入路の工事を行い、その後は地質調査を行うとともに施設設計を進めていく予定です。



きれいな水はきれいな処から

毎年早春にかけて、南摩ダム水没地へ新緑を求めて行楽に訪れる方が見受けられます。しかしながら行楽に乗じて、**不燃、大型家電ゴミ等**や、このシーズン特に多い**食べ物ゴミ・空きカン・空きビン等の不法な投棄**や**私有地へのむやみな進入、盗取**をされる方が後を絶たず困っています。「南摩ダムの景色や放流される水はとてもきれいだ」と誇れるダム造りは皆様と共に抱く大きな目標と考えていますので、皆様方のご理解・ご協力をお願い致します。

なお、南摩ダム水没地内の進入出来ない場所には**ロープ等を設置**しましたが、設置していない場所においてもむやみな進入は控えていただきますよう併せてお願いします。

また、毎年お問い合わせの多い、公衆用トイレ等は南摩ダム水没地内周辺共一切ございませんので、ご了承下さい。

